聖書の中の人々

—日々の思索に—

Day by Day with Bible Characters

Day by Day with Bible Characters

「デイ・バイ・デイ」シリーズ

聖書の中の人々

―日々の思索に―

Day by Day
with
BIBLE CHARACTERS

Day by Day with BIBLE CHARACTERS

Published by
PRECIOUS SEED PUBLICATIONS

目次

一月　六
二月　六八
三月　一二六
四月　一八八
五月　二四八
六月　三一〇
七月　三七〇
八月　四三二
九月　四九四
十月　五五四
十一月　六一六
十二月　六七六

一月一日
創世記一・二十六～二・二十五

アダム―神の特別な創造物

アダムが他の被造物よりも優れているのは、神がなされた二つの事柄のためです。すなわち彼は、神の息によって生きるものとされ、神のかたちに造られました。このことにより、アダムは神に似た者とされ、その結果、彼と彼に続く全人類は、「神の子孫（使徒十七・二十九）」となり、霊・たましい・からだを持つ者となりました。アダムは、ゆるやかな進化の頂点ではなく、むしろ、神による一週間の創造のみわざにおける冠でした。将来の人間が持ちうるすべての多様性は、アダムのうちに備わっていました。あらゆる異なった人種の特徴が、アダムの遺伝子の中に芽生えようとしていました。神は彼に、地上のどんな場所、どんな時、どんな環境でも、人間の生活に必要なすべてのものを与えてくださいました。

大いなる知恵をもって創造されたとはいえ、アダムにはまだ学ぶべきことがたくさんありました。そして神は、エデンに設けた園でアダムを教えられました。そこは、アダムのために最善の準備がなされ、後にアダム自身がその場所を守るよう責任を与えられた所でした。園の植物は、アダムの感覚を最も楽しませ、アダムの身体を最もよく養うために、神によって選ばれていました。神はアダムに、最上のものを与えられ、アダムはそこを耕し守りさえすればよかったのです。よく教えを受けたアダムとエバは、後に、地に増え地を人間で満たすために出て行かなければなりませんでした。

そして人間は、植物の王国を耕作し、動物の王国を管理することで、地を従え支配することになります。

園の外では、自然が野放図に繁茂し、園の内ではまとまりと秩序がありました。神に従って、アダムは自分の身体的・精神的能力を最大限に用います。彼は、与えられたまま園を管理し、秩序を保ちました。このことで彼は、最初の園芸家になりました。彼はまた園の管理を広げ、連れて来られた動物たちに名前をつけるまでになりました。このことで彼は、最初の科学者(分類学者)になりました。これらのことで、彼のからだと心は占められていました。

アダムとエバは、何と素晴らしく満ち足りた生活を、一緒に送っていたことでしょう。そして罪は、これらの理想的な状態を彼らから奪い、何という大きな損害をもたらしたことでしょう。しかし、長い目で見たとき、人間(男と女)がアダムの不従順によって失った以上のものを、キリストの死によって得るということは、神の大いなる恵みなのです。